

菜の花よ おさなごのかお かくし見る 岡本太郎

# 農地の春野菜は順調です!



満開の桜の下でお花見しながら農作業



写真上)葉物野菜に向けた畝立て  
右上)スナップエンドウの花が咲きました  
右下)飛田農地の玉ねぎもぐんぐん育っています



平成二十五年に始まったひと花プロジェクトは今年で十年目になります。ひと花ってどんなところ?と聞かれたらまず自由な場所と答えます。開所時間中は何時に来ても何時に帰っても、あるいは出たり入ったりも自由です。居場所やテラスでは、新聞を読んだりコーヒーを飲んだり将棋をしたり、自分で持ち込んだ手芸や園芸、木工に勤しむ人もいます。料理だってできます。ボランティアで地域清掃に行く人たちは「こうやって歩いて掃除できるのが元気のバロメーターになってるねん」と言います。皆

で料理をする「ひと花カフェ」では「一緒に食べたらずっぱりええなあ」という声が聞かれます。お喋りな人もいますが、誰かと話すのは苦手や、という人だっています。いろんな人がひと花に来て集うことで多様なつながりが生まれています。十年目になり、この場所も様々な変化を迎えています。ただ変わらず大切にしたいのはどんな人もふらっと立ち寄ることができる場所であり続けるということです。興味のある方は、ぜひ遊びに来て下さい。

# 出逢いの春、変化の春

# ひと花新聞

第 114 号

令和 5 年 4 月 5 日  
発行・認定 NPO 法人釜ヶ崎支援機構  
ひと花センター  
〒557-0002  
大阪市西成区太子1-13-15  
電話・06-66649-7890

旅立ちの 方位定めて 卒業す 一平

ミウサギ お店で買えば 一万円 南

上野さんにかいてもらった 明治天皇 あれば宝やで 2008 竹村正

## 三月に開催した 表現プログラム



美術の時間(3/9)では粘土で大好きな人を作りました



あっこちゃんの会(3/7)ではウサギも話の輪の中に



無責任なアドバイスに爆笑! 今日の出逢いを体験するにて(3/14)



ほっこり体操(3/22)では手以外でとるカルタ取りに挑戦!

### 次回のほっこり体操

4月26日(水)  
13:30~15:00  
楽しく身体をほぐしましょう



詩の時間にて。ひと花での思い出の場所を詩にしました(3/20)

春の言葉を書いたための書のWS(3/16)



名文  
釜ヶ崎芸術大学で見つけた  
文章です。  
日はあいつが初ま  
人向よもつと人向を大切に  
釜ヶ崎人の情々にま合す街  
金をためてもストレスためる  
生きるとは死ぬよりつらいものなり  
幸せはいつも身近にいる  
なやみ事一人ごがたまに  
やまいとは自分の気持ちに勝つ事  
天災は忘れたころにやってくる  
多岐書こう心と心の絆深まる  
つらくとも明日がこる朝は  
笑って暮らすも一生 怒って暮らすも  
老人よ 趣味をもち

とくじい

デザート最後のイチゴは うさぎ用 うえの

春の朝 メキシコ 敗り 最高だ GOO

※ ひと花センターは、西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業として、平成25年からスタートしています。

